



制作：かながわ経済新聞

首都圏産業活性化協会会員の構成(令和6年3月19日現在総数550) ●営利法人：269(個人事業主、金融機関含む) ●教育機関29 ●団体73 ●自治体20 ●個人会員159(コーディネーター含む)

トップインタビュー

株式会社クボプラ 代表取締役社長 久保 安宏氏

クボプラはプラスチックの切断から切削加工、穴あけ、曲げ加工、接着、溶接まで、プラスチック加工全般を手掛けています。近年は主力の5軸マシニングセンタをはじめとした設備投資に加え、人材採用にも積極的に取り組んでいます。今回は2代目社長でプロスカイダイバーとしても知られる、同社の久保安宏社長に話を聞きました。

思い入れが良い結果を生む “空飛ぶ社長”が語る攻めの経営



板加工に加え機械加工も

当社はプラスチックの看板製作を祖業とし、プラスチックの板加工と機械加工の両方に対応できることを強みとしています。切削加工では、主力の5軸マシニングセンタのほか、3軸マシニングセンタ、複合機、NC旋盤を導入。さらに職人技の手加工や接着、曲げ、溶接加工も行うことができます。ものづくりにおいては試作、治具単品から量産に至るまで対応しています。

当社は2019年に、営業部と製造部から厳選したメンバーによってIoT推進室を立ち上げました。現在も社内のIoT化を推進しており、その一例として作業者がモニター画面を見ることによって、機械の稼働管理や稼働実績を把握できるシステムを構築しました。今後もデジタル化をさらに進めていく方針です。設備投資とともに、社員募集も積極化し、ここ数年で20代前半の社員も増えてきました。

スカイダイビングで世界殿堂入り

私自身は大学生だった20歳でスカイダイビングを始め、日本のスカイダイビングによ

る映像の歴史を創ってきました。例えば、1990年代に放映されたテレビコマーシャルなどの空撮映像は、私がヘルメットの上に重さ10キログラムほどあるカメラを搭載し、空を飛んで撮影したものです。GoProなどの小型カメラがなかった時代の話です。言わばカメラマン兼プロデューサーといった役割を果たしてきました。

2015年にスカイダイビングで世界殿堂入りし、現在もあらゆるジャンプをこなしています。(断崖などから飛び降りてパラシュートで着地する)ベースジャンプを主としながら、スタントジャンパーとしても活動。ウイングスーツの技術やスカイダイビングの技術でも、いまだにトップレベルの存在として世界に名を知られています。

その一方で、34年前に父の急死を受けて、27歳で当社の社長に就きました。その頃は工業製品の会社で営業をやっていたことと、家族で他に担い手がいなかったという事情もあり、経営を引き継ぎました。当時はスカイダイビングで世界に打って出ようとチームを立ち上げて3年目でしたが、社長になって1年ほどはダイビングを我慢するしか

ありませんでした。

経営者としても攻めの姿勢で

経営者としての1年目は、従業員から「先代(父)の頃はこうしていた」とたびたび父がいた頃の話をつづけられ、辛い思いもしました。そこで現場にも入ってみました。途中から入ってきた社長が中途半端に現場に関わっても、形だけになってしまうと考えました。営業についても、また然りでした。

当時は実家に住んでおり、私も若くイライラしていたため、会社のことで母と言い争いになったことがありました。今では母に不満をぶつけてしまい、申し訳ないことを言ったと反省していますが、私自身の一言がきっかけとなり、逆に「この会社は自分が経営を続けていくしかない」と吹切れたのです。自分の会社なのだから思うように経営し、スカイダイビングでも世界を目指そうと決意しました。

社長としては、ありとあらゆる経営者の会に入りました。当時はアナログな時代だったため、会合にはほとんど出席し、とにかく自分の顔を見せて知られることが大事だと考えました。情報収集や自分を売り込むためです。現在は地元の商工会議所の工業部会長も7年間務めています。何事も、やると決めた以上は攻めていかないと面白くないのです。

創業100周年を見据えて

当社には現在、24歳以下の社員が8名います。あと2年で創業




横形複合加工機も導入

60周年を迎えますが、100周年を迎える頃には私は104歳で、恐らく会社にはいません。だとしても、当社が100周年を迎えた時に存在できる会社になりたいという思いがあります。最近入社した社員が、勤め続けられる会社になりたいと考えています。そのためには守りだけの経営ではなく、攻めの姿勢が大事になってきます。

直近の3月には、複合旋盤1台と、マシニングセンタを3台導入し、生産体制を増強するとともに、島根県に第3工場を建設することも検討しています。採用活動も積極化し、来期は業容の拡大を見込んでいます。



商号	株式会社クボプラ
代表者	代表取締役社長 久保 安宏
所在地	東京都青梅市長淵4-239-2
従業員	32人
創立	1966年
ホームページ	https://www.kubopura.com/



My proud technique is...

TAMA協会会員の

今月の

ワザ自慢!



効率アップ、品質向上、明日のイノベーションのため、独自に磨いた技・業・ワザに学びたい。コンペティターや見えない市場を想定し、自社の強みを打ち出すところに成功の鍵がある。

精密切削加工・軸加工・超精密微細加工 株式会社八木製作所

超微細から大物までトータルに対応

八木製作所は金属や樹脂、焼結材などの精密機械加工を試作から量産まで手掛け、治具製作も行っている。2022年11月、M&A(合併・買収)により、直径700ミリメートル程度の金属加工ができる大物金属加工会社の事業を

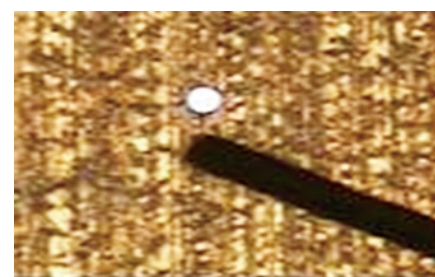
承継。産業用機械向けなどの大物金属加工ができるようになった。八木製作所は電子機器向けなどの超精密微細加工を得意とし、八木博之社長は「今までは手のひらサイズから指先サイズへといったように、微細加工を突き

詰めてきましたが、M&Aによって視野が広がりました」と効果を実感している。

同社はM&Aにより丸三工業(相模原市)の生産設備や従業員を引き継ぎ、第三工場として大物金属加工会社の生産機能を八王子に移した。第三工場では大物だけを扱い、過去に納品した産業用機械部品などの補修も行う。M&Aによって、製品ラインアップだけでなく顧客層も広がり、「M&Aによるシナジー(相乗効果)が出始めています」(八木社長)という。

一方で、既存事業を含めた製造現場の強化については、「TAMA協会さんの案内がきっかけとなり、現在は加速度的に従業員教育を行っています。具体的には“6S”という切り口や、複数の工具メーカーさんの協力を得て、生産改善の教育にも取り組んでいます」(同)と説明する。さらに、職人固有の知識やノウハウを共有するための仕組み化にも乗り出した。

同社はM&Aをきっかけに、「技術承継を



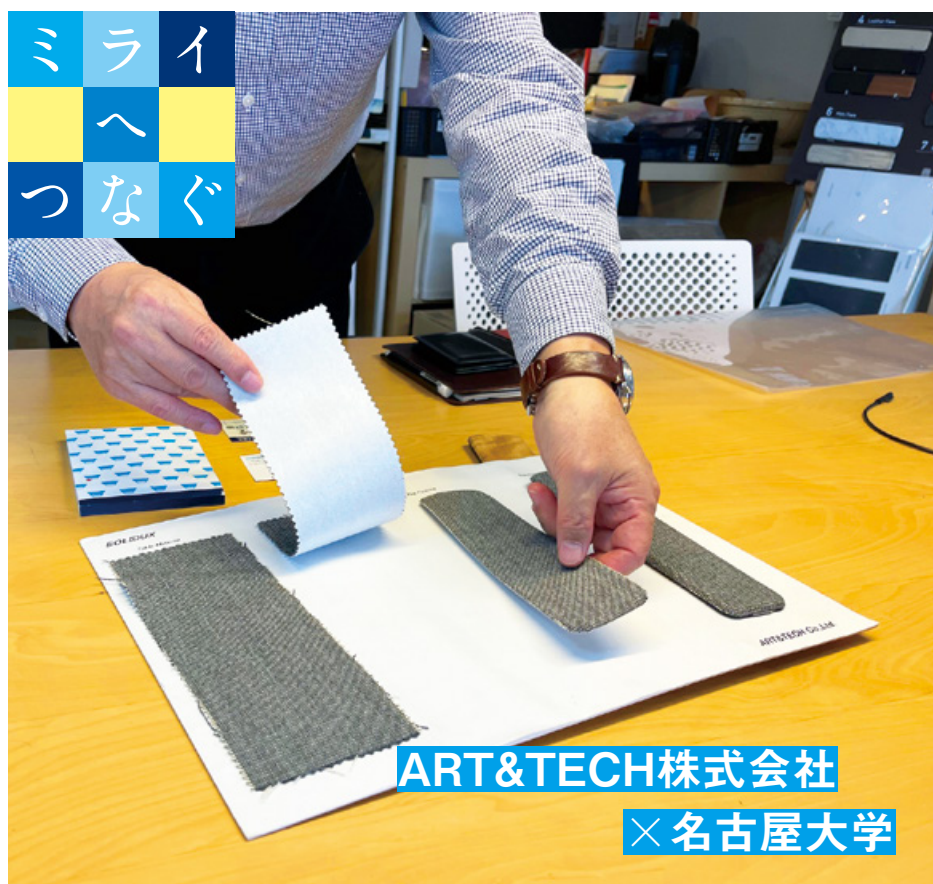
キーワードに人材育成を進め、付加価値を高めていきたい」(同)としている。技術の体系化に取り組むとともに、人材育成を両輪として、試行錯誤を繰り返しながら技術を磨いていく。

商号 株式会社八木製作所
代表者 代表取締役社長 八木 博之
所在地 東京都日野市豊田4-36-16
創立 1963年4月
ホームページ <https://www.yagiseisakujo.co.jp/>



〔本コーナー掲載企業募集中〕

貴社の「ワザ自慢!」を記者が取材します。お問い合わせは、事務局(info@tamaweb.or.jp)まで



ART&TECH株式会社

× 名古屋大学

ヒーターを内蔵した樹脂パネル

ART&TECHは、名古屋大学小林研究室の研究成果を活用、暖房効率や省エネ効果に加えてデザイン性が高く、生産コストを低減できる面状ヒーターを内蔵した樹脂パネル材を開発した。炭素繊維と和紙で構成された抄紙を使用した面状ヒーターで、EV車のインストルメントパネル(インパネ)下部の足熟暖房用として実用化を目指す。同パネル材の開発では、市村清新技術財団から第112回(令和5年度第2次)新技術開発助成金を贈呈された。今後日本の月面ステーション壁面断熱暖房パネル向けにも、完成度を高め実用化を検討していく。

自然素材と樹脂を一体成形

ART&TECHは、ファブレス(工場を持たない)の技術開発型ベンチャー企業で、三菱レイヨン(現三菱ケミカルホールディングス)出身の渡邊泰社長が創業した会社。樹脂成形品に木や織物など本物素材を表層材として活用し、射

出成形機を用いてインサート成形により加飾できる「SOLIDUX」と、樹脂成形品に電磁波吸収体・アンテナなどの機能性材料を内蔵可能なポリプロピレン繊維強化樹脂シート「ECOLUX」という2つの技術が同社の中核だ。

樹脂成形品の加飾成形について渡邊社長は、「天然素材を樹脂成形品の表層に加飾することは、既存技術ではほとんどできませんでした。当社の基本成形技術は安定した素材を安定した技術で組み合わせているだけなのですが、その組み合わせ技術に誰も気が付かなかったのです」と説明する。SOLIDUXはスマートフォンの筐体などに使われ、2017年にドイツのiF International Forum Designのゴールドアワードを受賞した。

一方のECOLUXは、機能性材料を挟み込んで熱可塑性FRP(繊維強化樹脂)シートを熱プレス成形により加工することができる。独自開発のポリプロピレンFRPシートは形状安定性に優

実施報告

Layer1:交流

イノベーション創出・DX促進支援成果報告会を開催

首都圏産業活性化協会(TAMA協会)は3月15日、オープンイノベーションフィールド多摩(東京都八王子市明神町)で「令和5年度イノベーション創出・DX促進支援 成果報告会」を開きました。経済産業省と中小企業庁の事業に採択され実施したもので、当日は「イノベーション創出」と「DX促進支援」で、同協会の支援プログラムを受けた企業が成果を発表。オンラインも含め、多数の会員や関係者が会場に詰めかけました。野長瀬裕二会長は「イノベーション創出は、当協会の一丁目一番地の取り組みでもあり、会員のみならず皆さまのご努力の成果を見届けていただきたいと思います」とあいさつしました。



前半の「イノベーション・プロデューサー」による活動支援実証事業成果報告(事業名称・イノベーション創出支援3階層における支援プロセスの見える化)では、担い手育成への取り組みとして「MURAMATSUメソッドを用いた座学+OJT研修の取り組み成果」を発表。続く「担い手育成・領域拡大」では、「OKAMURAメソッドを用いたイノベーション・チーム・プログラム」に参加した企業が、参加前後の気づきや変化などを語っていました。

一方、後半は「サイバーセキュリティ対策拡充型の取り組み」をテーマに、支援を受けた企業と担当コーディネーターらが、それぞれの成果を発表しました。また、終了後には懇親会も開催され、参加者たちは交流を深めていました。

第2回中小企業支援セミナー

3月19日に、東京たま未来メッセ主催の「第2回中小企業支援セミナー」が開催され、中小企業の課題解決の糸口となるテーマについて、協会の会員企業2社が登場。小玉博幸コダマコーポレーション社長は「CAD/CAMは経営のツール～生産性の更なる向上、人材の早期育成、技術継承～」をテーマに、林英夫武州工業相談役は「製造業におけるDXの取組～カーボンニュートラルに向けて～」と題し、それぞれ講演しました。本セミナーは興味深く、勉強になる内容でした。



第40回はむらイブニングサロン

TAMA協会は3月26日、マーケティングのJacky柴田氏を迎え、「マーケティング理論の自分ごと化～Jackyと考察する事業戦略～」をテーマに、第40回はむらイブニングサロンを開きました。コロナ禍から社会経済活動の正常化が進み、産業界でも前向きな動きが見られている一方、部材価格の高騰などにより、引き続き厳しい局面を強いられている事業者も少なくありません。こうした中で、今回は地域企業から寄せられた生の声を基に、マーケティング理論を使いながら、事業戦略を考察しました。活発な意見交換が交わされ、大いに盛り上がりました。



The HINT64(SICミニセミナー)

さがみはら産業創造センター(SIC)で3月27日、The HINT(SICミニセミナー)が開かれ、小川直樹TAMA協会デジタルビジネスプロデューサー(中小企業診断士)が講師として登壇しました。今回は「BtoB型企業のWebマーケティング実践・基本編～人的営業活動をホームページで補うためには?～」をテーマに講演しました。参加者の方々には真剣に聞き入っていました。4月15日に同会場で本セミナーの応用編を開催する予定です。

トピックス

中小企業庁2023年度「はばたく中小企業・小規模事業者300社」が決定! 首都圏活性化協会の会員企業2社も選出!

中小企業庁の表彰制度「はばたく中小企業・小規模事業者300社」の2023年度受賞企業として、TAMA協会会員から狭山金型製作所(埼玉県入間市)、日本分析工業(東京都瑞穂町)の2社が選定されました。今回は「事業再構築・生産性向上」「海外展開」「GX」「DX」「人への投資・環境整備」の5分野が設定され、狭山金型製作所は事業再構築・生産性向上分野で、日本分析工業は海外展開分野でそれぞれ選ばれました。

今後の予定

(予定は変更になる可能性があります。詳細はホームページをご確認ください)



Layer1:交流

The HINT65(SICミニセミナー)

日時:2024年4月15日(月) 15:00~16:30

場所:さがみはら産業創造センター(相模原市緑区西橋本)2号館第5会議室

テーマ:BtoB型企業のWebマーケティング実践・応用編～人的営業活動をホームページで補うためには?～

講師:TAMA協会デジタルビジネスプロデューサー 小川 直樹氏

第5回つなぐWa Session・Global

日時:2024年4月22日(月) 16:00~18:00(予定)

場所:八王子市学園都市センター サウンドルーム(八王子駅前 オクトレ11F)

第41回はむらイブニングサロン

日時:2024年5月17日(金) 予定

場所:羽村市内

第48回つなぐWa Session

日時:2024年5月8日(水) 予定 場所:未定

サイバーセキュリティ対策入門セミナー

日時:2024年5月27日(月) 15:00~17:00

場所:オープンイノベーションフィールド多摩・国分寺館(予定)

テーマ:大切な取引先から安心・信頼される企業であり続けるために ~情報セキュリティ自社診断によるリスクの見える化と基本的な対策の紹介~

講師:TAMA協会デジタルビジネスプロデューサー 小川 直樹氏

そろそろやらなきゃ...とお思いのあなた!

クラウド型事業承継実行支援サービス

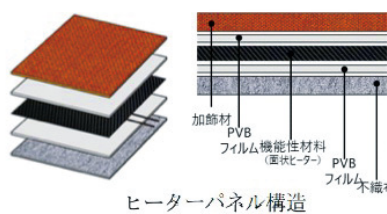
承継ちゃん

かんたん 月々6,600円

自分でできる

syoukeichan.com

材を名古屋大と共同開発



ヒーターパネル構造

れ、各種表層材との接合度が高く、熱プレス成形+機能性内蔵+加飾が可能、更に応用範囲が広く造形の自由度が高い。「ECOLUXは形状安定性に優れており、加熱による伸縮で内蔵された銅線の断線などが起こり難いため、樹脂成形品にワイヤーハーネス・アンテナなどの機能性部材を内蔵することができるのです」(渡邊社長)。

樹脂に機能性を内蔵した工業製品

今回、市村清新技術財団から助成金を受けた技術は、ECOLUX技術を用いて開発した、ポリプロピレン繊維強化樹脂(PP-FRP)に面状ヒーターを内蔵した樹脂パネル。渡邊社長は

「樹脂に機能性を内蔵したパネルを熱プレス成形でできるのがポイントです」と話す。PPホットメルトを溶融し、ポリエステル不織布に含浸させた熱可塑性プリプレグからなり、面状ヒーターや表層加飾材を一体成型することで、機能性と表面加飾を同時に実現し、さらに工程の短絡化を図ることにより低コストで形状自由度+安定性の高い樹脂パネル材を供給できるようにした。

面状ヒーター材は和紙に細かく裁断された炭素繊維を分散混入した抄紙を適用し、PP-FRPで挟み込み内蔵し密封させることで、湿気や水への耐性を高めた。また、面状ヒーターの裏面にアルミ蒸着テキスタイル断熱材を付与することで、ヒーターパネルの輻射熱の利用効率を高め、従来比で40%の省電力化を確認済みとしている。

この面状ヒーター内蔵によるメリットは、EV車の省電力化や軽量化による走行距離の延伸に効果があり、輻射熱による人体に優しい加温に加え、温度立ち上がり早いという点にある。さらに、

ECOLUXのプリプレグの積層化プロセスを採用する利点としては、樹脂成形品、表層材、面状ヒーターの一体製造によりパーツ構成を削減、製造工程の短絡化を実現でき一層の合理化を実現出来ることにある。さらに、熱プレス成形による形状と表層材の自由度が高いため、デザインを制約しない。多彩な車種にも応用が可能だという。

月面ステーションの壁面断熱暖房パネルにも

助成を受けるにあたっては、「とにかく、基礎技術検証の連続でした。同財団の助成金を獲得することは、個人的にファブレスの中小企業にとっては最難関の一つだと思います」という渡邊社長。「以前、TAMA協会さんからの支援で東京都の助成金を受けたことがあり、技術開発にあたっては公的な助成金や補助金も検討しましたが、当社がファブレスであることから、今回は市村財団の助成金一本に絞りました」(渡邊社長)と明かす。



渡邊泰社長

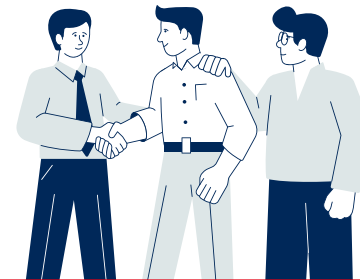
面状ヒーターを内蔵した樹脂パネル材の用途開拓としては、月面ステーションの壁面断熱暖房パネルがある。今後は宇宙におけるECOLUXの優位性について、宇宙航空研究開発機構(JAXA)や名古屋大学小林研究室の研究成果に基づき、開発精度を高めていく。

商号 ART&TECH株式会社
代表取締役 渡邊 泰
所在地 東京都港区南青山6-1-32-702
創立 1990年7月
ホームページ <https://www.at-tech.co.jp/>





広げよう会員の輪 **新規会員の紹介**



新規会員との意見交換・面談を希望する方は、事務局へご連絡ください。

NEW

想像以上の付加価値を創る会社です

イニシャルレス加工で、機能性、便利さ、ズバリをカタチにします
検討、検証時間を確実に短縮できます

当社は、金型などのイニシャルを省いての「ものづくり」をデジタル技術で試作～量産まで行っております。

昨今の小ロット多品種案件に対しては、当社のデジタルものづくり技術で、皆様の「ものづくり」のお手伝いをさせていただきます。

3Dデータの段階からOKです。用途に応じた材料、加工方法、納入形態までのご提案をさせていただき、ズバリをカタチに！是非ご相談下さい。



グランツテクノワークス株式会社
東京都狛江市東和泉1-30-2
TEL 03-5761-8030
URL <http://www.gt-works.jp>



NEW

流体を、科学する。

私たちを取り巻くさまざまな気体と液体—それらを計測・制御・発生させる技術は、生きるため、そして社会と産業の発展のために必要不可欠であり、議論の尽きないテーマであると考えています。

コフロックは「流体を科学する。」をモットーに、小流量域を主とした計測・制御の研究開発を通して、豊かな地球環境の実現を目指しチャレンジを続けて参ります。



コフロック株式会社
京都府京田辺市草内当ノ木1-3
TEL 0774-62-4411
URL <https://www.kofloc.co.jp/>



NEW

製造業界に特化した最高水準のM&Aを提供しています

日本の産業の根幹を支えてきた中堅・中小企業の経営者様の夢やビジョンがM&Aによって引き継がれ、より大きく開花していくことが、これからの日本経済を支えていくのだと私たちは考えます。

「成功のM&A」には、早い段階からのバリューアップの準備と最適なタイミングでの譲渡が必要です。

製造業界とM&Aコンサルティングのどちらにも深く正しい知識を持った私たちが、皆様の成功に貢献することをお約束します。

株式会社スピカコンサルティング
東京都港区六本木3-2-1
住友不動産六本木グランドタワー 42階
TEL 03-6823-8728
URL <https://spicon.co.jp/>



NEW

『粘着』加工技術を通し、お客様のお困りを解決!

自動車、住宅・建材、家電、医療、スポーツ、農業まで幅広い業種業態のニーズに対応いたします。

大協技研工業は、多岐にわたる産業に対し粘着製品の企画、設計・開発、加工、販売とトータルでの提案が可能です。また高品質・短納期はもちろん、ユーザー様の使い勝手やコスト低減につながる提案もいたします。

近年では、他社と連携した「モノづくり」も積極的に行っています。新しい分野へ向けての共同開発(プロジェクト)などのお話も大歓迎です。具体的なプロジェクトの詳細やご質問がございましたら、お気軽にご連絡ください。



大協技研工業株式会社
神奈川県座間市栗原920-3
TEL 046-252-9311
URL <https://www.daikyogiken.co.jp>



第2回 首都圏産業活性化協会 ゴルフコンペ

2024年

5/23 日

開会式 8:00 (マスター室前)

受付開始 7:30~

スタート IN/OUT 8:24~

場所 長竹カントリークラブ 神奈川県相模原市緑区長竹1838

参加費 | 5,000円 (パーティ、商品代)

※駐車場あり
※JR・京王線橋本駅北口からクラブバスをご利用いただけます。

プレー費 | 各自ご負担願います (キャディ付き約16,000円/昼食代別)

申込 | 下記URLの申込フォームよりお申込下さい。
<https://www.tamaweb.or.jp/archives/44182>



一般社団法人首都圏産業活性化協会 ☎042-631-1140 ✉info@tamaweb.or.jp



会員募集中

TAMAネットワークから
新しい未来を創造しませんか?

■首都圏産業活性化協会 (TAMA協会) は産学官による会員組織です。研究会・交流会への参加、個別企業の支援など、会員間の交流促進と会員企業の支援を行っています。

- 会員メリット
 - 毎月1回以上開催される会員交流会のご案内 (参加費無料) ※2022年度実績27回
 - 企業や研究機関の探索、マッチングコーディネート
 - 経産省・各省市・地方自治体等の補助金をはじめとする最新情報のご提供
 - 各種補助金・助成金申請の支援 ※認定経営革新等支援機関 (第3号 ID:100313031220)
 - カーボンニュートラル・DX等に取り組む身近な事例のご提供など

入会申込書はホームページからダウンロード可能です。

<https://www.tamaweb.or.jp/about/guidance>

申込書をご記入の上、EmailかFAXにてご送付ください。



一般社団法人 首都圏産業活性化協会 (TAMA協会)
Tel:042-631-1140 Fax:042-631-1124 E-mail info@tamaweb.or.jp URL <https://www.tamaweb.or.jp>

TAMA経済NEWS (つなぐWa) では広告協賛いただける企業を募集しています。詳細は事務局 (info@tamaweb.or.jp) までお問い合わせください。

【サイズ】①横57[㍉]×縦48[㍉]、②横57[㍉]×縦100[㍉]、③横129[㍉]×縦98[㍉]、④横129[㍉]×縦142[㍉] (特別枠) の計4タイプがあります。

編集後記

4月を迎え、協会は第7期中期3か年をスタートしました。コロナ禍の先期は、協会の「目的」再認識 (原点回帰) と、ありがとう指数の向上 (会員増・受託収入増・自社商品提供) に取り組みました。おかげさまで会員も460から550に増え、協会に依頼されるお仕事も増えました。今期は「新たなサービスが会員に支持される」よう励みます。そして「指示される人」から「支持される人」になれるよう、みんなで精進して参りましょう! 今年度もどうかよろしく願います。(芳)

発行元・問い合わせ

一般社団法人首都圏産業活性化協会報「つなぐWa」は、協会ホームページへ掲載し、メールマガジン等で企業・自治体・商工団体・金融機関等へご案内しています。
一般社団法人首都圏産業活性化協会 Email: info@tamaweb.or.jp URL: <https://www.tamaweb.or.jp/>

■八王子事務所

〒192-0083 東京都八王子市旭町9-1八王子スクエアビル11階 TEL:042-631-1140 FAX:042-631-1124

■羽村サテライト (月曜日休館)

〒205-0003 東京都羽村市緑ヶ丘2-11-1羽村市産業福祉センター1階 TEL:042-570-3481 FAX:042-570-3482